

# 長崎地本だより

発行所  
自衛隊長崎地方協力本部  
長崎市出島町2番25号  
TEL 095-826-8844

# 謹賀新年

本年、自衛隊長崎地方協力本部は  
創立70周年の節目を迎えます  
令和7年 元旦



長崎地本公式 HP 長崎地本公式 X 長崎地本公式 Instagram  
自衛隊長崎地方協力本部の ☆公式ホームページ  
☆X ☆Instagramへはここからアクセス!

自衛隊長崎地方協力本部  
公式キャラクター「なかりん」

## 本年もよろしくお祝い申し上げます 令和7年元旦

### 新年のご挨拶

自衛隊長崎地方協力本部長  
1等海佐 佐々木 昌貴



新年明けましておめでとうございます。  
旧年中に皆様から賜りました自衛隊長崎地方協力本部へのご支援とご協力に深く感謝申し上げます。

長崎地方連絡部として創設されて以来、69年もの長きにわたり長崎において活動を続けてこられたことは皆様からの温かいご厚情の賜物であり、改めまして御礼申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、戦後最も厳しく複雑なものとなっております。中国は東シナ海、南シナ海、西太平洋などでの活動を活性化させており、台湾周辺海空域で軍事演習をたびたび実施しております。北朝鮮は核ミサイル開発を進展させ、弾道ミサイルの発射を強行しています。ロシアはウクライナ侵略を継続しつつ、中国と共同での航空機及び艦艇の活動を行うなど、極東地域での活発な軍事活動を継続しています。また、ロシアと北朝鮮は軍事協力の強化を推進しています。

このような安全保障環境のなかで、防衛省・自衛隊は防衛力の抜本的強化に取り組んでいるところであり、新たな装備品の開発・取得、装備品の可動率向上や弾薬・誘導弾の十分な確保、防衛施設の強靱化を

進めているところであります。一方で国内の情勢に目を転じてみますと、少子高齢化の影響等から、深刻な人手不足社会を迎えるなか、人材獲得競争はより激しさを増し、厳しい募集環境となっております。人的基盤の強化として、隊員の処遇向上や生活勤務環境の改善を含めた勤務の魅力向上にも取り組んでいるところであります。

我々自衛隊長崎地方協力本部は、防衛力の中核は自衛隊員であり、組織を支える人の充実が最も重要であると認識し、厳しい募集環境のなか、募集・援護・予備自衛官等の確保などの各種業務に粘り強く取り組んでおります。自衛隊長崎地方協力本部が業務を推進するうえで長崎県民のご理解と関係協力団体等からのご支援・ご協力は不可欠であり、皆様の期待と信頼に応えるべく「県民とのかけはし」として力を尽くしてまいります。本年、自衛隊長崎地方協力本部は創立70周年を迎えることとなりますが、皆様には変わらぬご理解とご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本年が皆様にとって健やかで幸多き一年となることをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。





長崎県防衛協会 会長  
長崎県知事 大石 賢吾

明けましておめでとうございます。  
自衛隊長崎地方協力本部の皆様、県内の陸海空自衛隊の皆様、並びに長崎県防衛協会をはじめ自衛隊協力団体の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

自衛隊長崎地方協力本部におかれましては、昭和30年に長崎地方連絡部として設立されて以来、長きにわたり、自衛官の募集や就職援護活動をはじめ、災害対応や国民保護業務における自衛隊と県内自治体等との連携にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境を振り返りますと、中国は軍事力を急速に増強するとともに、尖閣諸島周辺を含む海洋活動を活発化させています。北朝鮮は核ミサイル開発を進展させ度重なる弾道ミサイルの発射を強行しています。またロシアはウクライナ侵攻を継続し、北方領土を含む極東地域での活発な軍事活動を行っており、更には中国と共同での航空機や艦艇の活動も確認されています。今年8月には、中国軍機による本県の男女群島沖への領空侵犯が行われ、県としましては、駐長崎総領事館を通じて、再発防止の申し入れを行いました。

このような不安定な国際情勢の中、自衛隊の皆様は、「わが国の平和と独立を守り、国民の安全を確保する」という崇高な使命のもと、日々厳しい訓練を重ねられ、国家防衛、災害派遣活動、国際平和維持活動など、様々な活動を通して、国内外から厚い信頼と高い評価を得られています。特に、雲仙普賢岳噴火災害における派

遣活動をはじめ、その他多くの自然災害に伴う災害派遣に出動していただいております。海上自衛隊第22航空群による離島地域からの急患搬送は、昭和33年の開始から既に約5,300回にもわたるなど、長年の間、昼夜を問わず献身的な活動を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

また、昨年3月には、大村市に所在する陸上自衛隊竹松駐屯地に、第3水陸機動連隊が新編され、国境離島をはじめ多くの離島を有する本県としましては、非常に心強く思っております。

改めて申し上げるまでもなく、自衛隊の皆様におかれましては、わが国の平和と安全を守ることはもとより、災害等への派遣活動、国際平和維持活動への参加など、大変重要な任務に日々精励されております。自衛隊の皆様は、なくてはならない存在として、国民・県民のみならず、国際社会からも厚い信頼と大きな期待が寄せられております。

どうか隊員の皆様には、国の安全を守り、国民の生命・財産を守るため、引き続きご活躍をいただきますようお願い申し上げます。本県の安全安心の確保に向けた取組に対しましても、さらなるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、自衛隊長崎地方協力本部、県内の陸海空自衛隊、並びに長崎県防衛協会をはじめとする自衛隊協力団体の限りないご発展と、新しい年が関係皆様方にとりまして素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人長崎県自衛隊家族会  
会長 前川 要次

新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、長崎県自衛隊家族会の運営に對しまして、家族会会員の皆様、自衛隊長崎地方協力本部の皆様を始め、陸・海・空自衛隊並びに自衛隊協力諸団体各位に温かいご支援とご協力賜りました事に、心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、能登半島地震・訓練中の事故記録的な豪雨災害・又、全国各地において、熱中症アラート警報が長期間発令され、猛暑に悩まされる年でした。

国内では、災害現場における災害救援活動等、国外では、南シナ海における中国の軍事力を背景とした現状変更とその事実化・度重なる尖閣諸島の領海侵犯・ロシアによるウクライナ侵攻を含む活動の活性化・北朝鮮による弾道ミサイル発射等脅威が更に増大し、こうした情勢の変化の中で、離島防衛も重視される昨今であり、国民の安全確保・領土領海の維持の為に、水陸機動団が重視され離島防衛訓練も順調に進んでおり、令和6年度大村市の竹松駐屯地に第3水陸機動連隊が新編され、連隊が3つになり即応体制の強化と共に日々訓練に努められており、竹松駐屯地での陸上及び海上での基礎訓練を11月に見学し、訓練の厳しさを痛感すると共に、侵略の抑止につながる事に心強く思った所です。

海外においては、水上部隊による派遣海賊対処行動・情報収集活動等にあつてはエネルギー供給ルートの確保任務も重要で、自衛隊の各部隊の活動があつてのものと感謝申し上げますと共に、平和の有難

さを痛感している所です。

自衛隊家族会は、広く国民の防衛意識の普及・高揚に努めると共に自衛隊に対する協力・支援等を通じ、我が国の安全保障・防衛基盤の確立に寄与することを目的としています。

私たちは、隊員の家族と言う、最も身近な存在であることに誇りを持ち、隊員の皆さんが安心して隊務に専念出来ますよう、各部隊の各種行事・部隊研修に努め部隊活動を理解し、より良い支援が出来ますよう家族会の充実を図っている所ですが、家族会会員の減少が県内はもとより全国的に課題になっており、会員の増大が急務となっております。会員の皆さんと「家族会の信条」の達成を推進してまいりたいと思っております。

皆様方の今後のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

◎家族会の信条

- 一、自らの国は自ら守る防衛意識を高めます。
- 一、自衛隊員の募集・就職援護及び家族支援に協力します。
- 一、会員数を増大し、組織の活動力を高めます。







長崎防衛協会  
会長 渡邊悦治

新年おめでとうございませう。皆様におかれましては、令和7年の輝かしい新春をお健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、国際社会に大きな衝撃を与えたロシアのウクライナに対する軍事侵攻は未だ出口が見えませんが、中東では、ハマスのパレスチナ武装勢力のイスラエル領侵入に対して、イスラエル側がガザ地区での地上軍事作戦を継続、また、昨年は、イランがイスラエルに大規模なミサイル攻撃を行うなど、国際社会は混迷を深めています。

我が国周辺地域に目を転じますと、中国による東シナ海や台湾周辺での活動は活発化し、中国機が長崎県男女群島沖の領海上空を侵犯する事態も生じています。また、北朝鮮は核・ミサイル開発を繰り返して、ロシアは中国との連携を強めるなど、我が国周辺の情勢は緊迫度を一層増しております。

このように先の読めない世界情勢の中、防衛力強化のための取り組みが行われましますとともに、自衛隊の皆様におかれましては、昼夜を分かたず、年末年始に関わらず、今、この瞬間も我が国周辺の海空域の警戒監視を継続され、また、日本から遠く離れた海外でも、厳しい任務に従事しておられますことに、あらためて敬意と感謝の意を表します。

自衛隊の皆様のみならず、我々国民にもこれら内外の急激に変化する状況を理解し、いかなる情勢にも適切かつ迅速に対応していく姿勢を貫く覚悟が必要であると思ひます。



長崎防衛協会は、名実ともに『行動する防衛協会』として今後一層の熱意をもって、地域社会と密着し防衛思想の普及に努めてまいりますとともに、自衛隊隊員の皆様の生の声を直接聞ける部隊研修や、部隊指揮官等の方々からの講演の機会を設けて、自衛隊の活動に対する理解をより深めてまいり所存です。さらに、自衛隊の人的基盤強化の議論が高まる中、長崎市近郊の企業100社以上を会員とする当協会として、自衛隊での知識や技能を活かし、誇りとやりがいを持って再就職支援にも引き続き取り組んでまいります。

今年も、自衛隊長崎地方協力本部の協力を得て、積極的に自衛隊の支援、防衛思想の普及並びに再就職支援に邁進したいと思ひます。今後とも、関係各位のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、全国に所在する防衛省・自衛隊隊員の皆様の今後益々のご活躍とご安全を心からお祈り申し上げますとともに、当協会会員をはじめ関係者皆様にとりまして、良い年となりますように祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人隊友会 長崎県隊友会  
会長 江見雅博

明けましておめでとうございませう。自衛隊長崎地方協力本部の皆様及び同OB会会員の皆様には、ご家族おそろいで、新年を迎えられたことと、心からお喜び申し上げます。

令和6年もまた、昨年引き続き中国からやってきた新型コロナウイルスのため、日本中が大きな混乱の中にありますが、終息とはいえないまでも、徐々にコロナ禍以前に戻りつつあります。

令和6年の隊友会の活動は、徐々に従前の活動に戻りつつあり、例年の通り、定例会、防衛講話及び懇親会を行うことができました。また、10月には九州沖縄ブロッコ研修会が宮崎県で実施され、地方協力本部の支援を得て、長崎からも参加しました。これも偏に皆様のご協力の賜と感謝申し上げます。

一昨年2月にロシアによるウクライナ侵略が生じました。隣国ロシアによる暴挙は我が国の安全保障を速やかに再構築しなければならぬことを教えています。北朝鮮の核の脅威は従前と変わらず、中国の現状変更の試みも台湾情勢や尖閣諸島の現状状況を見ても分かる通り、依然続いていきます。最近でもイスラエルとハマスの紛争があり、世界中で戦火の絶えることはありません。また、大規模災害も各地で頻発しており、自衛隊の置かれている環境は、コロナの影響を受け、とみに厳しくなっています。

漸く防衛3文書が策定され、自衛隊を真に使う構想になってきました。募集状況は、厳しさを増すばかりで、抜本的な処遇改

善等、自衛官の給与と名誉に対する大胆な政策が望まれるところです。

その中で国民の97%以上が自衛隊に期待し、信頼を寄せていることを考えると、現役自衛官の高い緊張感を持って勤務するご苦労に、国民の一人として、感謝申し上げます。

自衛隊員が誇りを持って勤務に邁進できる環境や、任務遂行の装備の充実に向け、隊友会としても積極的に取り組んでいるところです。

隊友会は、自衛隊と国民の架け橋となることを目標に掲げております。長崎県隊友会としては、最強の支援団体たるべく、防衛意識の普及と高揚を図るとともに、自衛隊が働きやすい環境を作るために県民の皆様への啓蒙活動を続けてまいります。

最後に、本年が皆様にとって、良い年となりますよう祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。







自衛隊長崎地方協力本部OB会  
会長 三村 均

新年明けましておめでとうございます。  
日本国内外で任務・教育訓練に従事されている長崎県出身の自衛隊員の皆様及び協力諸団体の皆様は、様々な不安と希望をもって新年を迎えられたことと思います。

昨年は正月から能登半島地震に始まり、その後、大雨による災害が重なることにも、全国的に多大な被害をもたらしました。国際的には、三年目に入ったウクライナ戦争が継続し、中東情勢もおお透明です。我が国周辺では、相変わらず中国の軍事力増強に加え、経済状況の悪化に伴う台湾有事や尖閣諸島危機が迫りつつある状況です。国内外における自衛隊への期待は高まるばかりです。自衛隊の人的充実及び宇宙・サイバー・電磁波を含めた近代化並びに国防力の増強が喫緊の課題です。

アメリカ大統領選挙でトランプが当選したことは、国際的に見るとこれまでの恐怖を煽る流れを変えるいいチャンスだと考えられます。アメリカ第一主義という考え方は、グローバリズムによる、資本のみでなく人の移動や文化(の名のもと、伝統・国柄を無視したLGBTやハラスメントなどのポリコレ)・医療・気候変動の押し付けに対して、それぞれの国柄を重んじた国家を基本に国際協調しようというものです。日本は、縄文時代から豊かな自然に恵まれ、高度の文化と平和な共同体

を育み、江戸時代まで神話と歴史がつながる、家族を中心とした階級でない、各人の役割を忠実に果たす清らかなで和を尊ぶ社会を築いてきました。

現在の世の中は、マスメディア・教育・司法の偏向によって歪められ、既存社会を破壊し世界政府の樹立を目指す国連を利用したグローバリズム勢力に対するナショナリズムの闘いという現実が覆い隠されています。トランプと米国内及び各国の支持者がグローバリズム勢力を打倒する長い闘いを開始し、それぞれの国柄を重んじた国家が自立し、国際協調する真の平和な世界へ変わっていく時代の始まりが令和七年となることを期待します。

令和七年の新年を迎えられ、この一年が皆様により良き年になることをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



## 長崎地本 各課・各所・各センター別 新年の抱負



総務課

70年間の感謝を胸に、しなやかに未来を描く巳年



副本部長

集大成  
自分に厳しく、  
人に優しく



援護課

皆様にへビー級の幸せが訪れるよう、全力をつくします！



募集課

蛇(邪)念を捨てて粘り強く、前向きに挑戦





諫早  
地域事務所

巳年!今年も所員一丸となって若者たちの  
人生の新たなステージへの挑戦を  
精一杯サポートします!(チャー)



大村  
地域事務所

融和団結!



佐世保  
出張所

一致団結!



長崎  
募集案内所

まだまだ未開拓地、職業としての  
自衛隊、認知向上に頑張ります。  
募集目標達成!



琴海  
地域事務所

健康第一!



島原  
地域事務所

ヘビーな年と  
なりますように



対馬駐在員  
事務所

ヘビー級の成果を!  
...頑張ります!!



令和七年 元旦

本年も各課・各所・各センター  
一丸となって  
募集・援護・予備自・広報活動に  
邁進して参りますので  
ご理解とご協力を  
よろしくお願い申し上げます。



志岐駐在員  
事務所

巳(実)を結ぶ充実した  
年になるよう頑張ります!



上五島駐在員  
事務所

地域と共に!



五島駐在員  
事務所

募集目標達成のため  
勇往邁進(ゆうおうまいしん)  
頑張ります。



相浦駐屯地  
援護センター

隊員に寄り添った援護  
和顔愛語で頑張ります。



大村駐屯地  
援護センター

大村援護センター、今年も  
やる気がヘビー級です。



長崎地域  
援護センター

今年も一笑懸命!



# ワイヤーママ長崎イベントと同時開催！艦艇広報きりさめ！



■たくさんのキッチンカーが集結



■乗船待ち長蛇の列



■地本ブースに操縦桿展示



■護守印のスタンプラリー



■きりさめ甲板上で見学



■きりさめ船上から見た風景



自衛隊長崎地方協力本部（本部長 佐々木昌貴1等海佐）及び護衛艦「きりさめ」（艦長 伊藤正行2等海佐）は、令和6年10月27日（日）に長崎港出島岸壁で一般公開を実施した。

護衛艦「きりさめ」は、むらさめ型護衛艦の4番艦として平成11年3月18日に就役したへりコピューター搭載護衛艦であり、コンピューターによって、様々な情報及び多数の武器を集中管理・操作し、空中、水上及び水中からの脅威に速やかに対処する能力を有している。

本艦艇広報は、ワイヤーママ長崎が主催するワイヤーフェスと同時開催し、来場者は艦艇広報とフェスを楽しんでいた。ワイヤーフェスとの相乗効果もあり来場者数は1日で約3,300名と予想を上回り、多くの来場者に対し、自衛隊の魅力発信できた。

今回の行事は、ワイヤーママ長崎との連携も考慮して取組んだものであり、自衛隊長崎地方協力本部は、今後も住民の方々と協力しながら長崎県内の多くの国民の皆様へ自衛隊に対する理解を深めることに努め、一人でも多くの志願者の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努めていく。（広報室）

## 令和6年度自衛隊合同記念日行事 飛昇

大村地域事務所は、今後も大村市民及び募集対象者に対して自衛隊への理解を深めてもらい、志願者増加に繋がるよう、引き続き積極的な募集広報活動に努めていく。（大村地域事務所）



■募集ブースで相談会



■ミニ制服着用撮影会

令和6年11月16日（土）、大村地域事務所（所長 上古閑誠2等陸尉）は陸上自衛隊大村駐屯地（司令 土肥崇紀1等陸佐）で実施された自衛隊合同記念日行事に参加した。

大村地域事務所が設置した募集広報ブースは装備品展示コーナーに併設され、約650名の来訪者があった。ブース来訪者の多くは家族連れで、制服試着体験では多数の子供たちが試着し、装備品展示車両を背景に記念撮影を楽しんでいた。父親と同じ制服を試着し喜ぶ子供たちの笑顔が多く見られ、自衛隊をより身近に感じられる良い機会となった。また、自衛隊に興味がある学生に対しては、自衛隊の魅力や仕事内容の説明を実施した。目の前で訓練展示を見学しながら広報官から訓練内容や職種の説明を受け、自衛隊に対する理解を深めることができ、より興味を持つてもらえたようであった。



■パジェロを展示



■アンケートに参加



■ガラポン抽選会が大盛況！

自衛隊長崎地方協力本部 諫早地域事務所（所長 佐藤一郎陸曹長）は11月3日（日）長崎県諫早市森山町における森山よらんね祭りに参加し、募集広報活動を実施した。

イベントへの来場者は約6,000人であり、自衛隊広報ブースには約310名が訪れた。

広報ブースでは、自衛隊車両の展示や制服試着体験のコーナー等を設け、来場者に対し、自衛隊の認知度向上及び魅力の発信を図ることができた。また、今回ガラポン抽選も行い、賞品は自衛隊関連グッズをプレゼントし、来場者には大盛況であった。

諫早地域事務所は、引き続き多くの諫早市民及び募集対象者に自衛隊に対する理解を深めてもらい、志願者や入隊者の増加に繋がるよう、積極的な募集広報活動に努めていく。（諫早地域事務所）

## 海栗島分屯基地&対馬駐屯地記念行事



■海栗島分屯基地開庁68周年記念



■対馬駐屯地創立44周年記念行事

対馬駐在員事務所（所長 小野新一郎陸曹長）は、11月17日（日）に開催された航空自衛隊海栗島（うにじま）分屯基地開庁68周年記念行事及び11月24日（日）に開催された陸上自衛隊対馬駐屯地創立44周年記念行事において募集広報ブースを開設し自衛隊のPRを実施した。

17日の航空自衛隊海栗島分屯基地開庁記念行事で、初めての募集広報ブースを祝賀会食会場（基地体育館）において海上自衛隊対馬防備隊、航空自衛隊海栗島分屯基地と合同で開設した。自衛隊に対する認識が南部に比べやや希薄な北部のため、装備品等の写真パネル展示、ビデオ放映、グッズの配布等は行事出席者や催し物の出演者に対し、良い自衛隊PRの場となった。

24日の陸上自衛隊対馬駐屯地創立記念行事においては、島内最大のショッピングセンター敷地内（対馬に所在する陸海空部隊の市中パレード時）と対馬駐屯地内（観閲式訓練展示等）に募集広報ブースを開設し、装備品等の写真パネル展示、グッズの配布、VR体験、缶バッジ作成体験等を実施した。日頃から自衛隊への認識の高い対馬ではあるが、更なるご理解を得ることができた。今後も対馬島内の各種イベントへ参加し、自衛隊の魅力発信できるような積極的にPRして行く。（対馬駐在員事務所）





# 長崎大学学園祭で自衛隊の魅力発信へ

自衛隊長崎地方協力本部は、今後も長崎県内の様々なイベントに参加し、多くの若者や地域住民に自衛隊に対する理解を深めていただけるよう引き続き積極的な広報活動に努めていく。

(長崎募集案内所)

11月2日(土)は、前日から午前中までの悪天候の影響で模擬売店が中止となり、一般来場者は少なかつたが、企画・出展している長崎大学生が多く来場した。学生達は車両に乗車して写真撮影を行い、「かっこいい!」と歓声をあげていた。

11月3日(日)は晴天に恵まれ、大学生及び高校生並びに小学生の家族連れが多く来場し、自衛隊広報ブース来訪者は2日間で約500名にのぼった。

学園祭当日、長崎募集案内所は車両展示(パジェロ)、能登半島地震における災害派遣パネル展示を実施した。

11月2日(土)は、前日から午前中までの悪天候の影響で模擬売店が中止となり、一般来場者は少なかつたが、企画・出展している長崎大学生が多く来場した。学生達は車両に乗車して写真撮影を行い、「かっこいい!」と歓声をあげていた。

同学園祭に出展した経緯は、長崎大学学園祭運営委員会(学生が運営)がX(旧「Weibo」)にて一般企画を募集していたところ、地域住民及び学生の方々に自衛隊をもっと知ってほしい、自衛隊を身近に感じてほしいとの思いから応募した結果、学園祭運営委員会と長崎大学学生支援センターとの協議により災害派遣関連のパネル展示及び小型車両展示の出展許可を得て実現したものである。

自衛隊長崎地方協力本部長崎募集案内所(所長 森田秀喜1等陸尉)は、令和6年11月2日(土)から11月3日(日)までの間、長崎市文教町の長崎大学において、同学園祭に初めて自衛隊広報ブースを出展した。



防災パネル展示

展示車両の内部に興味津々

展示車両を多くの人が見学



## 目達原駐屯地記念行事へ参加!



航空機地上滑走体験搭乗

地上装備品展示見学

自衛隊長崎地方協力本部(本部長 佐々木昌貴1等海佐)は、11月24日(日)に目達原駐屯地創立70周年記念行事「九州補給処創立72周年記念行事」へ募集対象者5名及び保護者1名を引率し、参加した。

天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わう中、航空機地上滑走体験搭乗が行われ、地上装備品及び航空装備品の展示を見学した。

特に、航空機地上滑走体験搭乗については、陸上自衛隊最大の輸送ヘリコプターCH-47JAに搭乗し、参加者はその迫力に驚きの表情を浮かべ、体験搭乗終了後には、「貴重な体験ができて良かった。」などの感想があり、好評であった。

また、地上装備品及び航空装備品の展示についても、各駐屯地から募集された多種多様な装備品を興味津々な様子で見学し、熱心に装備品の説明を聞いている様子も見られた。

自衛隊長崎地方協力本部では、このようなイベントを通じて、多くの若者に自衛隊に対する理解を深め、志願者の増加に繋がるよう引き続き積極的な募集広報活動に努めていく所存である。(募集課企画班)

## JA五島ごとう島空マルシェ



車両展示

ドロシ体験コーナー

VR体験コーナー

自衛隊長崎地本協力本部 五島駐在員事務所(所長 道向成俊空曹長、川道弥徳非常勤隊員)は、11月9日(土)JA五島農協主催のJAごとう島空マルシェに参加し、募集広報活動を実施した。

本イベントは、五島で生産された「食」とオリジナル商品の販売を目玉とした活気あふれるイベントであり、令和6年7月より毎月第1土曜日を実施日(基準)として開催されている。

会場には、約10社が出店しており、その他(官公庁、自衛隊長崎地方協力本部(航空自衛隊(第15警戒隊)と合同)が募集広報ブースを出展、また、五島警察署及び五島消防署も特殊車両を展示していた。天候は、あいにくの曇りで時折強風が吹くこともあったが、来場者は約3000人を超えており、皆さん地元でとれた野菜を見定めたり、デザートなどをおいしそうに食べていた。

募集広報活動として、自衛隊に興味がある方にパンフレットを配布したり、対象者等情報の提供を依頼するとともに、募集対象者には、アンケートを実施して、今後の活動の資を得ることができた。

五島駐在員事務所は、今後も様々なイベントなどを活用して、島民と自衛隊の「かけはし」になるよう努力していく所存である。

(五島駐在員事務所)

### 陸海空 自衛官募集

インターネットからも応募できます

自衛官募集 検索

募集フリーダイヤルコールセンター

0120-063792

年中無休 受付時間 12:00~20:00

### 人事異動

◎退職 令和6年11月30日付  
非常勤隊員 坂本 かつり

◎上五島駐在員事務所  
非常勤隊員 坂本 かつり

◎自衛隊長崎地方協力本部付  
1等陸尉 多比良 輝彦

◎転出 令和6年12月20日付  
大村地域事務所から第22航空群司令部(大村)へ  
海曹長 渡邊 慎太郎

## 2025年男

本部募集課 丸山3等陸曹  
**丁寧慎重!**

大村地域事務所 柚木2等空曹  
 心機一転!来年は今年以上の志願者獲得を目指し日々精進して参ります。

本部援護課 大瀧2等陸曹  
**大漁祈願!**

佐世保出張所 豊嶋1等陸曹  
 今年も一年頑張ります。

長崎募集案内所 高山陸曹長  
 まだまだ「已」熟な私ですが、ご指導のほどお願いいたします。

上五島所長 浦松陸曹長  
**健康第一!**



令和6年12月20日現在

<p>保全係 防警・業計・賠償 庶務・操縦手 総務課 文書・個人情報 情報保証 総務係長 総務班長 総務課長</p>  防衛事務官 市原 真由美  防衛事務官 中村 真悟  2等陸曹 久松 裕希  2等陸曹 宮本 英彦  1等陸曹 野口 勝弘  陸曹長 立森 幸子  3等陸佐 石原 功一  防衛事務官 中村 公人  防衛事務官 道喜 加津雄  1等海佐 佐々木 昌貴								<p>副本部長</p>  防衛事務官 道喜 加津雄  1等海佐 佐々木 昌貴		<p>本部長</p>  1等海佐 佐々木 昌貴													
<p>募集課/募集班 募集課長</p>  3等陸佐 池田 秀樹		<p>車両係</p>  1等陸曹 高橋 幸司		<p>施設係</p>  陸曹長 松本 聡子		<p>管理班</p>  陸曹長 石橋 鉄也		<p>管理班長</p>  防衛事務官 金崎 桂磨		<p>総務課/会計班 会計係</p>  陸曹長 江籠 智美		<p>会計班長</p>  防衛事務官 川西 賢		<p>人事係</p>  陸曹長 本間 秀一		<p>人事班長</p>  防衛事務官 川辺 憲祐		<p>郵政</p>  非常勤隊員 山本 誠二		<p>衛生・給養</p>  防衛事務官 副田 英一		<p>業務予定・経費・旅費</p>  防衛事務官 金城 拓海	
<p>広報係</p>  3等陸曹 丸山 健志郎		<p>募集課/広報係 広報係長</p>  1等陸曹 田平 雄一		<p>広報室 広報班長</p>  防衛事務官 白石 智洋		<p>広報室長</p>  1等海尉 上山 直人		<p>計画係</p>  非常勤隊員 出口 忠		<p>募集課/計画班 募集経費係</p>  防衛事務官 草野 純平		<p>計画係長</p>  准陸尉 坂井 粘		<p>計画班長</p>  1等陸尉 平山 博之		<p>募集係</p>  2等陸曹 川端 省吾		<p>募集係</p>  1等陸曹 松本 好隆		<p>募集係</p>  陸曹長 西村 修		<p>募集班長</p>  1等陸尉 下平 伸一	
<p>援護課/予備自室 予備自室長</p>  防衛事務官 串崎 康也		<p>援護課/援護係 援護係長</p>  防衛事務官 岩永 新伍		<p>援護課/援護係 援護係長</p>  陸曹長 吉居 雅博		<p>援護課/援護係 援護係長</p>  防衛事務官 北園 雄一		<p>援護課/援護係 援護係長</p>  防衛事務官 福田 一城		<p>援護課/援護係 援護係長</p>  防衛事務官 羽入 田和巳		<p>文書係</p>  防衛事務官(高任用) 中村 淳		<p>企画係</p>  防衛事務官 江藤 大輔		<p>学校係</p>  2等空曹 中武 桂子		<p>企画班長</p>  1等空尉 田村 秀孝		<p>募集課/審査主任</p>  防衛事務官 平古場 慶		<p>募集課/広報係</p>  非常勤隊員 前田 明子	
<p>大村駐屯地援護センター 援護係長</p>  准陸尉 斉藤 和明		<p>長崎地域援護センター 援護係</p>  2等陸尉 清成 鋭		<p>副センター長</p>  非常勤隊員 山道 信義		<p>援護係</p>  陸曹長 溝口 将史		<p>援護係</p>  1等空尉(空運幹部) 田中 眞一郎		<p>予備自係</p>  非常勤隊員 古賀 里香		<p>援護係</p>  非常勤隊員 前田 真里子		<p>援護係</p>  防衛事務官 林 竜也		<p>予備自係</p>  2等陸曹 大瀧 陽司		<p>予備自係</p>  陸曹長 石田 俊次		<p>予備自係</p>  陸曹長 木村 裕二		<p>予備自係</p>  准陸尉 遠藤 勇二	
<p>佐世保出張所 広報官</p>  1等陸曹 豊嶋 大希		<p>出張所 広報官</p>  1等陸曹 中野 貴昭		<p>出張所 広報官</p>  陸曹長 納所 彰		<p>出張所 広報官</p>  1等海尉 駿河 健太郎		<p>出張所 広報官</p>  非常勤隊員 松本 靖美		<p>出張所 広報官</p>  非常勤隊員 西田 勝一		<p>出張所 広報官</p>  陸曹長 高橋 貴彦		<p>出張所 広報官</p>  2等陸尉 松崎 豊和		<p>出張所 広報官</p>  非常勤隊員 藤本 宏幸		<p>出張所 広報官</p>  非常勤隊員 松本 義孝		<p>出張所 広報官</p>  陸曹長 香田 勝弘		<p>出張所 広報官</p>  陸曹長 太田 昭宏	
<p>大村地域事務所 広報官</p>  防衛事務官(3再任用) 田口 秀樹		<p>地域事務所 広報官</p>  3等海曹 山田 達也		<p>地域事務所 広報官</p>  2等空曹 柚木 洋平		<p>地域事務所 広報官</p>  海曹長 片田 みゆき		<p>地域事務所 広報官</p>  陸曹長 山口 隆博		<p>地域事務所 広報官</p>  2等陸尉 上古 閑誠		<p>地域事務所 広報官</p>  非常勤隊員 一瀬 奈津美		<p>地域事務所 広報官</p>  3等海曹 深田 翔夢		<p>地域事務所 広報官</p>  2等海曹 嶋野 優詩		<p>地域事務所 広報官</p>  2等陸曹 島田 雄大		<p>地域事務所 広報官</p>  2等陸曹 神部 寿文		<p>地域事務所 広報官</p>  2等空曹 竹内 勇	
<p>島原地域事務所 広報官</p>  防衛事務官(3再任用) 田頭 勝則		<p>地域事務所 広報官</p>  3等空曹 平田 侑衣		<p>地域事務所 広報官</p>  1等海曹 山口 雄志		<p>地域事務所 広報官</p>  1等陸曹 宮本 福士		<p>地域事務所 広報官</p>  陸曹長 松本 かつお		<p>地域事務所 広報官</p>  陸曹長 荒木 義弘		<p>地域事務所 広報官</p>  1等陸尉 野口 秀貴		<p>地域事務所 広報官</p>  3等海曹 陽 康忠		<p>地域事務所 広報官</p>  2等陸曹 吉元 勇人		<p>地域事務所 広報官</p>  2等陸曹 渡邊 敦彦		<p>地域事務所 広報官</p>  1等海曹 横田 美幸		<p>地域事務所 広報官</p>  陸曹長 佐藤 一郎	
<p>長崎募集案内所 広報官</p>  非常勤隊員 満居 浩		<p>募集案内所 広報官</p>  2等空曹 浦 健剛		<p>募集案内所 広報官</p>  1等海曹 磯江 剛		<p>募集案内所 広報官</p>  陸曹長 峰松 克也		<p>募集案内所 広報官</p>  陸曹長 高山 寛雄		<p>募集案内所 広報官</p>  1等陸尉 森田 秀喜		<p>募集案内所 広報官</p>  3等陸曹 渡邊 貴志		<p>募集案内所 広報官</p>  1等空曹 船越 早人		<p>募集案内所 広報官</p>  陸曹長 山方 浩一		<p>募集案内所 広報官</p>  准陸尉 赤波江 真治					
<p>五島駐在員事務所 広報官</p>  非常勤隊員 川道 弥徳		<p>駐在員事務所 広報官</p>  空曹長 道向 成俊		<p>駐在員事務所 広報官</p>  陸曹長 浦松 功将		<p>駐在員事務所 広報官</p>  非常勤隊員 小島 圭子		<p>駐在員事務所 広報官</p>  陸曹長 小野 新一郎		<p>駐在員事務所 広報官</p>  非常勤隊員 長嶋 めぐみ		<p>駐在員事務所 広報官</p>  1等陸曹 柳澤 武美											

自衛官募集

